

青少年問題協議会 会議録

日 時 令和4年6月8日(水) 14:00~15:05
場 所 市役所 303会議室
出席者 青少年問題協議会委員 31名(欠席2名)
〃 幹事 11名
進 行 三浦生涯学習課長
議 長 細井副会長

市民憲章唱和(センター平松)

- 1 開会のことば 三浦課長
- 2 会長あいさつ 市川会長

コロナのため、3年ぶりの開催となった。犯罪情勢は落ち着いており、事件等もない。充実した学校生活を送っていると思われる。少年補導委員の活動で巡回することがあるが、夕方に子どもを見かけることもない。学校教育課の鈴木学先生の話聞いて意見交換していきたい。

3 議事 (議長 細井副会長)

- (1) 令和3年度蒲郡市青少年センター事業報告及び青少年育成事業報告
青少年センター 鈴木所長から説明
意見・質問なし、拍手によって承認
- (2) 令和4年度蒲郡市青少年センター事業計画及び青少年育成事業計画
鈴木所長から説明
意見・質問なし、拍手によって承認
- (3) 令和4年度健全育成市民大会開催案
鈴木所長による提案
意見・質問なし、拍手によって承認
- (4) 教育委員会委嘱による補導の取りやめの方向について
鈴木所長による提案
意見・質問なし、拍手によって承認
- (5) その他
特になし

4 コロナ禍の学校生活&SNS問題&不登校児童・生徒(14:25~)

学校教育課 鈴木学 補佐

・コロナ禍の学校生活

令和元年度末から丸2年、学校現場では「感染症対策をふまえた学校生活ガイドライン」に沿って対応している。音楽や調理実習、体育、給食、宿泊活動、部活の応援など楽しい活動に制限がかかり、心苦しい。

・SNS問題

資料2のいじめ認知件数を見ると、パソコンや携帯電話等で誹謗中傷やいやなことをされるといじめが、小学校で6件、中学校で12件あった。

3~4月新しい学年に進むタイミングで携帯を持つことが多い。チェーンメールを送ってしまう。自分や友達の個人情報や写真を公開してしまう。〇〇ちゃんって××だよねと言うのを見かけた人が、本人に伝達してしまうことで、友人関係が壊れ、仲たがひ、いじめにつながる。なりすましに手を伸ばしてしまう子もあり、警察に捜査してもらうこともある。保護者に承諾なく課金してしまうトラブル。携帯を持ったら使い方に気をつけましょうということで、各学校では外部講師を招いたりし

てスマホ、SNSなどの講習を実施している。

・不登校児童・生徒について

令和3年度、市内不登校児童32人、生徒106人。小中学校では対策委員会を開き情報共有を行っている。スクールカウンセラーを交えて対応を考えている。生活意識調査を行い、子どもの悩みをとらえる活動をしている。学校以外には、適応指導教室「あすなろ教室」があり、この6月で21人が通級している。その他、臨床心理士による相談「麦」、子ども・若者相談窓口等と連携している。また、若者サポートステーションでは学習支援に取り組んでいる。

三浦課長 意見質問等ありませんか。

壁谷教育長 今回の資料として配布されている「令和3年度青少年健全育成推進事業」の冊子に目を通してきた。昨年の市民大会は中止となったが、意見発表撮影会の場に参加することができた。蒲郡中の小林さんの「視点を変えて見えたもの」が印象に残った。コロナ禍の不満をリストアップしたら、つらい気持ちや悲しい気持ちがあふれてきたが、前向きな視点で見つめてみたら、よいこともたくさんあった。コロナ禍を前向きに乗り越えてきた良い発表だった。今年度は中学の修学旅行も7校実施でき、春の運動会・体育大会も予定通り実施できた。予定していたことが予定していた時期に実施できるありがたみを感じた。

稲垣生活安全課長 SNSや不登校の問題は子どものみならず、大人からも相談がある。メールやSNSのやりとりで人間関係がこじれてしまう。友だちの写真を軽い気持ちでアップしてしまい、人間関係がこじれてしまう。ネットの使い方を子どもに教えるには、大人が使い方を知らないといけない。危険性がわからない。子どもは新しいアプリをどんどん使っていく。新しいサービスを知る勉強をしていく必要がある。

現状、補導の人員が減っている。その背景にインターネットがある。家にいながら繋がれる、街で集まらなくても会話できる。オンラインゲームに至っては家にいながら、会話しながらゲームができてしまう。誰かの家に集まる必要もない。

三浦課長 不登校についてどうですか。

石村校外補導部代表 小学校から中学校に上がってくるときに増えてくる。新たな一人を出さないように対応している。

内田蒲郡高校長 市内3校対応しているが、ゼロにならない。高校は自分で学校を選んで受験しているのだが、ミスマッチが起きている場合、学校の授業に興味を持たず、1年生の早いうちに不登校傾向となることがある。クラスや部活での人間関係でのちょっとしたトラブル、このちょっとしたことを乗り越えることができず、進路変更となることがある。カウンセラーの先生と相談するなどしている。

5 連絡事項

鈴木所長 ここに集まっているみなさんが青少年問題協議会のメンバーとなります。街で見かける子どもや若者のことを気軽に連絡してください。

6 閉会のことば 小澤小中学校長代表

(終了 15:05)